

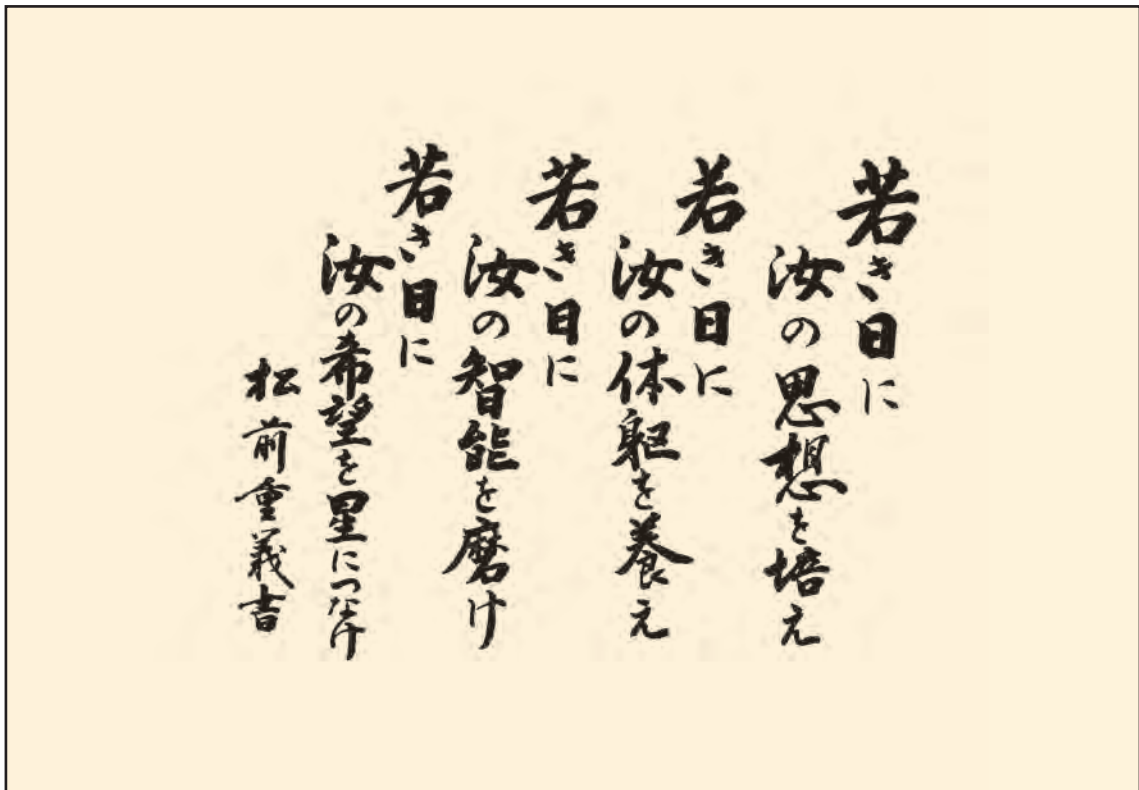


あなたの
「モノ」づくり
「ヒト」づくり
サポートします

東海大学 九州キャンパスより

地域の皆様へ

お問い合わせ先／ 九州カレッジオフィス研究支援担当



建学の精神

創立者松前重義は、青年時代に「人生いかに生きるべきか」について思い悩み、内村鑑三の研究会を訪ね、その思想に深く感銘を受けるようになりました。特にデンマークの教育による国づくりの歴史に啓発され、生涯を教育に捧げようと決意して「望星学塾」を開設しました。ここに東海大学の学園の原点があります。

創立者松前はこの「望星学塾」に次の四つの言葉を掲げました。

若き日に汝の思想を培え
若き日に汝の体軀を養え
若き日に汝の智能を磨け
若き日に汝の希望を星につなげ

ここでは、身体を鍛え、知能を磨くとともに、人間、社会、自然、歴史、世界等に対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけています。

本学園は、このような創立者の精神を受け継ぎ、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を高く掲げ、歩み続けていきます。

東海大学の知的財産憲章

大学は、社会の構成員として社会に貢献する義務を負うものである。本学は、そのような義務を果たすために、必要に応じて、大学としての本来の機能を損なわない限り、本学の人的及び物的資源の提供により、または学術的及び実用性のある研究成果ないし技術を有効に移転することにより、大学という殻に閉じこもることなく、積極的な産官学の連携の下、地域社会の発展や国際社会の連携に貢献するよう努める。

(東海大学知的財産憲章より抜粋)

東海大学九州キャンパスの取り組みと産学連携の仕組み

東海大学九州キャンパスでは、研究開発の成果を社会に還元・貢献するために地域の皆様を支援する「技術相談」窓口を設けております。このほか委託研究、共同研究、特別学術研究、研究員・研修員の受入れ等、一般的に「敷居が高い」といわれる大学を身近な存在として活用していただいて、日常業務において解決を迫られている様々な問題解決の手助けをしております。

【技術相談】

東海大学九州キャンパスは、文理融合学部、農学部の2学部のほかに、総合農学研究所を擁していますので、専門的内容から日常生活のどのような些細なことでもお気軽にご相談ください。本学では、本システムを地域貢献や教育活動の一環ととらえ、無料に対応させていただきます。

ただし、内容が定期的かつ長時間にわたる場合は別途契約等が必要となる場合がございます。

ご希望の場合は最終ページの技術相談申込書に必要事項をご記入の上、FAX、メール等でご連絡ください。

委 託 研 究

専門の研究者が最新の研究施設で研究を遂行します。

共 同 研 究

企業・大学相互の知的財産を活用し共同で研究を遂行します。

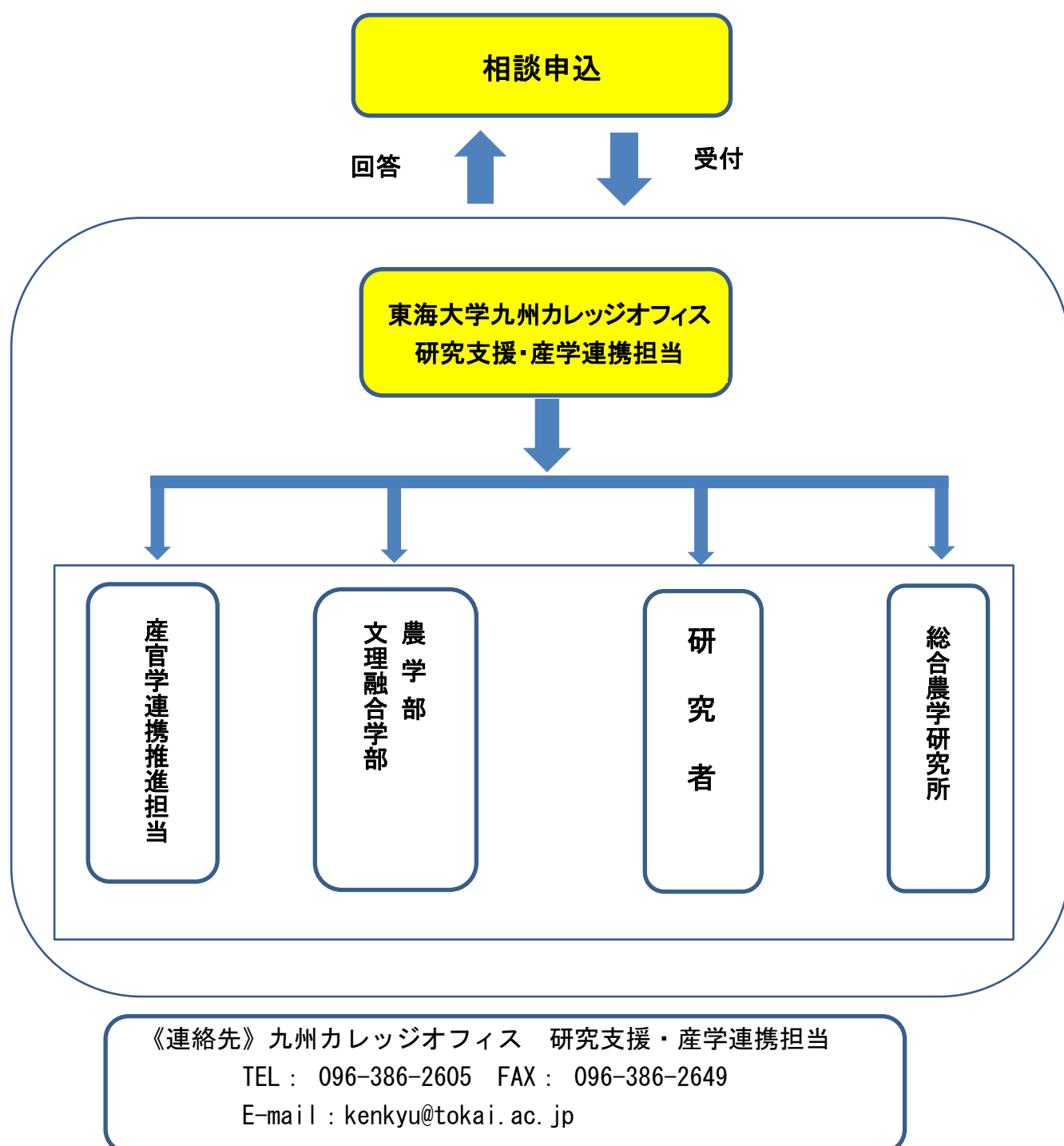
特 別 学 術 研 究

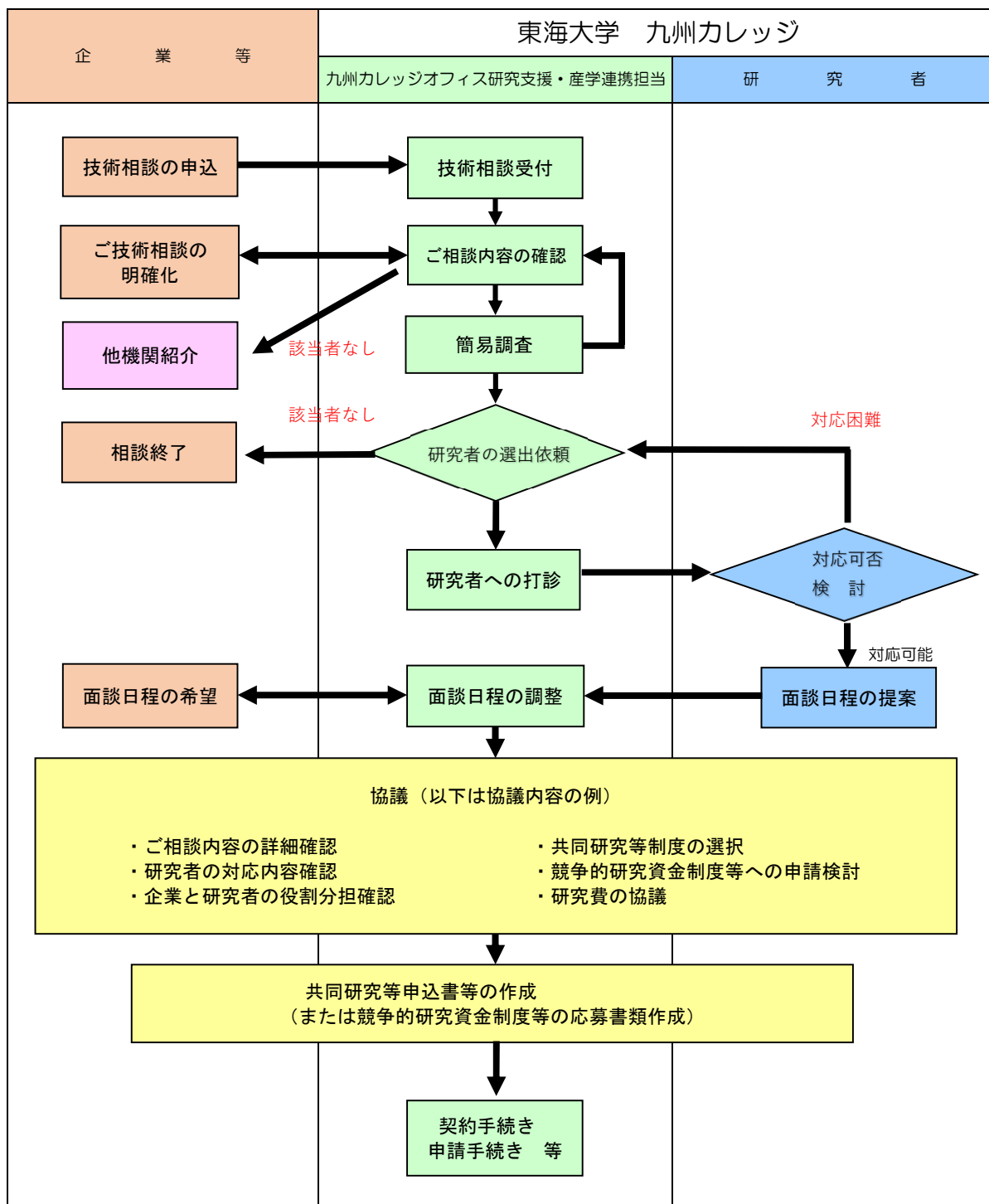
研究寄付金をもとに研究を遂行します。

技術相談・委託研究・共同研究等のお申し込み

技術相談・委託研究・共同研究等のお申し込みは、最終ページの技術相談申込用紙に、ご依頼の内容や希望される研究者の氏名をご記入の上、九州カレッジオフィス研究支援・産学連携担当にFAXまたはメールでお送りください。依頼したい研究者が不明の場合は空白で結構です。

ご依頼の内容や個人情報秘密情報に関することは適切に取り扱いいたしますのでご安心ください。





氏名・職名・学位	専門分野	研究領域
岩本 勝幸 教授 知識科学修士 MOT (技術経営)	サービスマネジメント ブランディング 技術経営	■IT 人材のエバリュエーションと育成 ■RPA を活用した業務効率化 ■小売業における MD 業務・発注業務の改善・在庫最適化
木之内 均 教授 農学士	農業産業人材育成論 農業・農場経営学	■農業産業人材育成と教育改革 ■農業行政と教育システム ■農業経営と意思決定 ■農業起業の実践的事例研究 ■企業の農業参入と生き残り戦略 ■農業の6次産業化について ■世界農業の動向と日本農業のグローバル化 ■日本と世界のイチゴ生産と産地の研究
曹 勇 教授 博士 (経営学)	技術経営 イノベーション・マネジメント 新製品開発管理	■オープンイノベーションと知識経営の共進化に関する日中比較 ■AI 時代におけるイノベーションシステムと産学官連携の役割変容 ■新製品開発における FFE 段階の不確実性を低減させるメカニズム ■福岡を中心とした九州地域製造業の技術戦略に関する研究 ■熊本の半導体や自動車産業の技術経営状況に関する調査
西村 知 教授 博士 (経済学)	アジア・太平洋の集落 経済 開発経済学 地方の小規模ビジネス	■フィリピン、フィジー、ミクロネシア連邦共和国の土地の制度、利用に関して開発経済学を用いて研究 ■鹿児島県を中心とした離島や中山間地域を活性化する小規模ビジネスに関する研究 ■熊本とアジア・太平洋との関係についても研究実施予定
濱田 健司 教授 博士 (農業経済学)	農福連携学 農業経済学	■農福連携、農福+α連携 ■農業経営、農生業 ■障害者・高齢者等の福祉 ■里マチづくり、地域×福祉、地域活性化 ■新しい商・経済および共育システム構築
大崎 栄 准教授 体育学士	有酸素運動 トレーニング方法論 陸上競技 中長距離・マラソン ノルディックウォーキング 酸素と健康 (高酸素の活用)	■低酸素、高酸素状態のトレーニングの活用した指導 ■人間構造における歩く走るの活用技術の指導 ■陸上競技 中長距離の指導技術 ■酸素の必要性と効果

氏名・職名・学位	専門分野	研究領域
瀧上 知巳 准教授 体育学士	スポーツマネジメント スポーツコーチ学 スポーツトレーニング論	■地域性を生かしたスポーツビジネス ■チームマネジメント／サッカーの効率的トレーニング方法
田中 靖久 准教授 修士（体育学）	幼児教育・教科教育学 スポーツ心理学	■小学校教科科目の好き嫌いに関する研究 ー小学校教員養成課程学生を対象としてー ■運動・スポーツの阻害要因に関する研究 ■Coaching Evaluation Survey (コーチに対する評価に関する研究)
的場 英行 准教授 博士（生物資源科学）	資源植物学 分子細胞遺伝学 遺伝 進化	■絶滅危惧植物（阿蘇地域）の保全、保護 ■外来種との雑種固有のDNA分析 ■資源植物の遺伝的特性及び起源の解明 ■高等植物染色体の分子細胞遺伝学的研究
石井 十郎 講師 修士（体育学）	スポーツ経営学	■スポーツ推進計画に関する政策ネットワーク研究 ■総合型地域スポーツクラブに関する研究
笠井 妙美 講師 修士（体育学）	スポーツ方法学 教科教育 スポーツコーチング	■ヨガにおける心理的行動の変容 ■初年次教育における大学体育 ■育児期における女性の健康
中原 康征 講師 修士（商学）	財務管理	■資本コスト推定方法 ■合併・買収に関する意思決定財務モデル ■企業の資本構成問題
深川 博史 教授 博士（経済学）	国際農業経済 アジア経済	■外国人労働者受入れ政策の日韓比較 ■韓国の農業経営及び農業政策 ■WTO 農業協定下の日本及び韓国の市場開放政策 ■韓国を中心とするアジア経済 ■少子高齢化と働き方改革 ■日韓農村における半導体産業集積のインパクト
萩野 誠 教授 博士（学術）	経営戦略論 地域経営論 島嶼経済論	■コミュニティ・ビジネス経営 ■熊本県における交通体系と産業育成について ■天草五橋の経済効果の総括 ■世界遺産観光の可能性

氏名・職名・学位	専門分野	研 究 領 域
澤田 成章 准教授 博士（商学）	財務会計論 島嶼経済	■簿記・会計 中小企業の企業価値向上 ■学校給食使用食材の地場産品割合向上 ■未利用資源の有効活用 ■自治体 DX 自治体の効果的な KPI 設定に向けて ■公共施設マネジメント

氏名・職名・学位	専門分野	研究領域
矢原 充敏 教授 博士（工学）	電子・情報工学	■アナログ回路（位相同期ループ、発振回路） ■デジタル回路（多相クロック分周回路、デジタル制御発振器） ■e-Learning による授業支援の研究
阿部 正喜 教授 農学博士	観光資源管理 博物館学 昆虫学 生物多様性保全学	■施設観光資源（博物館）を通じた地域資源管理に関する研究 ■世界遺産の地域価値創造戦略：天草、島原、長崎、萩など ■阿蘇・くじゅう国立公園における生物多様性保全に関する研究 ■北欧のレジャーサービス構築における野外博物館の機能に関する研究
荒尾 千春 教授 博士（政策科学）	人的資源管理 アナウンス技術 コミュニケーション	■ダイバーシティ推進（誰もが働きやすい環境） ■女性が活躍できる組織 ■テレビやラジオのアナウンス技術・プレゼンテーションスキル ■コミュニケーション（リーダーシップ、アサーション、コーチング） ■キャリアデザイン ■デザイン思考（アイデア創出）
顧 ウェン 教授 修士（学術）	日本の中国語学習者 に向け中国語の学習 教材の開発 文化学 比較文化研究	■日本の中国語学習者に向け中国語の学習教材の開発 ■茶文化交流史 ■日本茶道研究史
前田 芳男 教授 博士（工学）	地域づくり 教育工学	■地域活性化の事例研究 ■探求学習の指導法及び評価手法の研究 ■CBL（コミュニティ・ベースド・ラーニング）の教授法の研究
八尋 剛規 教授 教育学修士	情報メディア 情報教育	■情報教育・技術教育 ■Web プログラミング ■ネットワーク
安部 美和 准教授 博士（地球環境学）	環境学 地域防災 危機管理	■自然環境の変化に伴うコミュニティの環境適応 ■災害復興制度史 ■ヒツジを活用した阿蘇の創造的復興の検討
元 炳善 准教授 修士（経営学）	韓国語及び韓国文化	■韓国語の基礎・応用 ■韓国語の文字・文法・会話 ■日韓文化の比較など
蔵岡 智子 准教授 修士（教育学）	教育心理学 臨床心理学	■心理支援におけるアドボカシー（権利擁護） ■スクールカウンセリング

氏名・職名・学位	専門分野	研究領域
セタキス ラリー ジョン 准教授 博士（文学）	応用言語学 英語教授法	■言語学習心理学 ■心理測定 ■協調学習
高野 誠二 准教授 博士（学術）	都市地理学 都市社会地理学 交通地理学	■都市中心部の内部構造の変容 ■商業地域の活性化・再開発・街づくり ■廃道・廃線・戦争遺産などの近代化遺産の文化財・地域資源としての利活用 ■ロール・プレイングを中心とする合意形成方法論 ■環境教育
藤岡 美香子 准教授 修士（文学）	異文化コミュニケーション 英語教育	■異文化理解に関する知識と適応能力の養成 ■TOEIC の教材開発やテキスト作成 ■語彙力と各言語運用スキルの向上
ラップ マイケル ジェームズ 准教授 博士（文学）	応用言語学 英語教授法	■学習者自律性の心理測定、英語教育統一プログラムの教材開発、教員育成
ロドリゲスハ木 美樹 准教授 文学修士	英語教育	■英語プログラム開発と評価 ■英語授業における多読指導
川越 敏和 講師 博士（学術）	実験心理学 認知神経科学	■「ぼんやり」の基礎的研究 ■マスク着用の心理的効果 ■創造性の加齢的变化
山田 一隆 教授 博士（政策科学）	ボランティア学習論 社会教育学・生涯学習論 コミュニティ・エンゲージメント	■サービス・ラーニングにおける多元的参加型評価 ■学校教育における地域協働学習活動の実践と評価 ■社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）の醸成と教育の関係 ■コミュニティ活動（地縁、NPO/NGO）における事業承継過程
内山 忠 准教授 博士（工学）	建築計画・都市計画 地域デザイン・デザイン学・教育工学	■スマート社会における地域課題可視化と表現方法に関する研究 ■デジタル技術を活用したまちづくり支援に関する研究 ■地方都市の都市再生整備・地域デザインに関する研究 ■地域における実践型教育と効果

氏名・職名・学位	専門分野	研 究 領 域
清田 英夫 教授 博士（工学）	半導体工学 電子物性・デバイス工学	■半導体ダイヤモンド薄膜の合成と電子デバイスへの応用 ■色素増感型太陽電池の開発 ■溶液中でのアモルファスカーボン薄膜および窒化炭素の合成
伊藤 是清 教授 博士（工学）	建築材料学・施工学	■コンクリート構造物の維持管理・劣化診断技術に関する研究 ■環境負荷低減に配慮した建築材料の開発に関する研究 ■暑中コンクリートの製造・品質管理に関する研究
今田 恒久 教授 博士（理学）	数学（統計学）	■多変量統計解析の研究（多重比較法、逐次検定方式の開発）
佐松 崇史 教授 博士（情報工学）	知的情報処理	■ソフトコンピューティングによる意思決定支援システムの開発 ■光で音を測定する光波マイクロホンの開発 ■脳型情報処理に関する研究
鳥居 徹也 教授 博士（システム生命科学）	生体計測	■痛みのない医療を研究テーマにしています。痛みは、人の生命活動にとっても重要ですが、病院での検査・治療に伴う痛みは避けたいものです。そこで物理エネルギーを使用して痛みのない医療、低侵襲医療の実現を目指した研究に取り組んでいます。
藤本 邦昭 教授 博士（工学）	知能情報処理 集積回路	■知能情報処理専用ハードウェアの開発 人工知能の多くは、神経細胞における情報処理をモデルとしているため、既存のコンピュータによる処理には適さない。そこで、人工知能の処理に適した、神経細胞をモデルとした並列型ハードウェアの開発に取り組んでいる。
松本 欣也 教授 博士（工学）	電子工学 電波天文学 電波情報工学	■電波センシング研究（電波計測、電波応用計測） ■電波インターフェース研究（CGによる電波の可視化を含む） ■電波コミュニケーション研究 ■電波および電気電子工学の教材研究
村田 宮彦 教授 博士（医学）	生理学 神経科学	■カルシウム恒常性 ■神経活動の制御機構 ■中枢神経回路の再生
木村 達洋 准教授 博士（ソフトウェア情報学）	人間工学 医用生体工学	■自律神経系評価による快適性や安全性の評価 ■脳波などの生体情報を用いた入力インターフェースの研究

氏名・職名・学位	専門分野	研 究 領 域
佐藤 綾 准教授 博士（システム生命科学）	医用生体工学	■医療技術の教育に関する研究 ■医療機器の安全使用及び技術向上に関する研究 ■磁気刺激が与える影響に関する研究
名取 隆廣 講師 博士（工学）	デジタル信号処理	■状態量推定に関する研究 ■センサキャリブレーション手法に関する研究 ■IoT デバイスを用いた計測機器の開発
天野 弘基 助教 博士（環境科学）	地下水水文学 リモートセンシング	■地下水の硝酸性窒素汚染に関する研究 ■地下水を中心とした水循環に関する研究 ■水田による地下水涵養に関する研究 ■衛星画像による土地被覆分類に関する研究
村上 祐治 教授 博士（工学）	情報学	■感性情報技術に関する研究 ■仮想現実／拡張現実システムに関する研究 ■安全安心のための地理情報システムに関する研究
城屋敷 健志 准教授 博士（工学）	臨床工学 医用生体工学	■血流音や呼吸音を利用した診断に関する研究 ■高感度体導音センサの開発と臨床応用に関する研究 ■血液透析や手術中のモニタリングに関する研究 ■医療機器の運用や点検に関する研究

氏名・職名・学位	専門分野	研究領域
阿部 淳 教授 博士（農学）	作物学 栽培学	■水稻の有機栽培に関する研究 ■作物の根系に関する研究 ■植物のバイオマス利用に関する研究
井上 弦 教授 博士（学術）	土壌学 土壌肥料学 火山灰編年学	■土壌の生成に関する研究 ■土壌構成成分の表面分析 ■土づくり効果の検証 ■土壌診断
高橋 秀行 教授 博士（農学）	植物代謝学 植物生理学	■植物の開花・休眠に関する研究 ■植物の環境ストレス耐性に関する研究 ■阿蘇に自生する絶滅危惧植物の保全に関する研究
星 良和 教授 博士（理学）	植物環境科学 分子細胞遺伝学 保全生物学	■ゲノム情報を利用した未利用遺伝子の探索 ■高等植物の染色体研究および育種のための細胞遺伝学的評価 ■アレルギー抑制効果をもつモウセンゴケ属植物の系統選抜と改良 ■ミズゴケ栽培基盤を用いた人工湿原の創出 ■希少植物の系統保存と大量増殖技術の確立
村田 浩平 教授 博士（農学）	応用昆虫学 昆虫生態学	■環境保全型農業における害虫管理技術の開発 ■環境に優しい殺虫剤の開発 ■農業生態系における昆虫群集構造に関する研究 ■オオルリシジミ（チョウ）の生態と保護に関する研究
川邊 隆大 准教授 博士（農学）	蔬菜花卉園芸学	■アブラナ科野菜の農業形質に関連した遺伝子の探索および DNA マーカーの開発に関する研究
増田 優 准教授 博士（農学）	植物育種学	■新しい肥後ギク由来品種の開発 ■機能性作物（カンゾウ、ヤーコン等）に耐暑性を付与する育種 ■品種改良におけるバイオテクノロジーの利用
松田 靖 准教授 博士（農学）	遺伝育種学	■高等植物のバイオテクノロジーを利用した品種改良と DNA レベルの分析 ■シバ属植物の品種育成に関する研究 ■ヤーコンの栽培および品種育成に関する研究
鯉沼 宏章 講師 博士（農学）	植物病理学 植物医科学	■植物病原体の昆虫媒介機構の解明 ■ソロモン諸島における疫学的研究 ■農業現場で活用できる簡便な診断技術の開発 ■農業現場で問題となる植物病の診断、および防除技術の開発

農学部

農学科

氏名・職名・学位	専門分野	研 究 領 域
佐伯 爽 講師 博士（農学）	果樹園芸学	■気候変動に耐えうる果樹栽培法の開発 ■高品質な果実生産方法の開発 ■省エネルギーなど持続可能な果樹栽培方法の開発

氏名・職名・学位	専門分野	研究領域
服部 育男 教授 博士（農学）	家畜栄養学 飼料学	■家畜飼料の現場での簡易品質評価技術の開発 ■流通可能な自給飼料調製技術の開発 ■焼酎粕等低・未利用資源の飼料化技術の開発
伊藤 秀一 教授 博士（学術）	応用動物行動学 アニマルウェルフェア	■動物園動物の行動に関する研究 ■家畜の行動及びアニマルウェルフェアに関する研究
岡本 智伸 教授 博士（農学）	草地生態学	■草原生態系の解明に関する研究 ■放牧を活用した動物生産に関する研究
稲永 敏明 准教授 博士（獣医学）	動物生理学 家畜衛生学	■牛・豚・鶏を用いた慢性疾病の防止と生産性向上に関する研究
檜村 敦 准教授 博士（農学）	哺乳類学 比較生理学 動物生理生態学	■地下生哺乳類（モグラ類）の生態について ■地下生哺乳類の生態系における役割に関する研究 ■小型哺乳類の温熱生理に関する研究 ■放牧牛の空間利用等の生態について
佐藤 祐介 准教授 博士（農学）	代謝学 筋生理学 畜産物利用学	■骨格筋の代謝制御に関する研究 ■畜産食品の美味しさと機能性に関する研究
松本 大和 准教授 博士（農学）	動物遺伝学 分子生物学	■家畜・家禽における遺伝病の原因遺伝子同定やその機能解析に関する研究 ■家畜・家禽の経済形質に影響する遺伝子の同定及びDNA マーカー開発に関する研究
今井 早希 講師 博士（農学）	行動神経科学	■「仔が育つ環境の重要性」「子育て行動の仕組み」について研究しています。ほ乳類は例外なく仔を育てるため、研究成果は幅広い分野への応用が期待できます。
松野 雄太 講師 博士（農学）	繁殖生物学 応用遺伝学	■着床制御と子宮-胚相互作用に関する研究 ■新規着床誘導遺伝子・タンパク質に関する研究 ■子宮内の着床環境と代謝状態に関する研究 ■ウシの生産性と受胎率に関する研究

氏名・職名・学位	専門分野	研究領域
山下 秀次 教授 博士（農学）	ゲノム機能科学 ゲノム情報科学	■作物や家畜・家禽における疾病ならびに経済形質に関連した遺伝子の探索およびDNAマーカーの開発に関する研究
小野 政輝 教授 薬学博士	天然物化学	■野菜や果物、薬草などに含まれる機能性成分を純粋に分離後、それらの分子構造を様々な機器分析ならびに化学反応を用いて決定し、さらに、生物活性を明らかにする研究を行っています。これらの研究により、健康食品や医薬品、化粧品を開発するための基礎データが得られます。
永井 竜児 教授 博士（医学）	食品機能学 生化学	■各種食品の生活習慣病予防効果の検証 ■生活習慣病をはじめとする各種病態マーカーの探索およびモノクローナル抗体を用いた簡易測定法の検討
安田 伸 教授 博士（農学）	食品機能科学 食品生化学 薬物代謝化学 健康食品学	■食品の機能性に関する研究 ■食品由来の生理活性物質の機能性と代謝調節に関する研究 ■食品、農産物や薬草などの抗酸化作用、免疫系・抗アレルギー作用、糖質・脂質の消化阻害作用、抗がん作用に関する研究
山口 浩 教授 博士（理学）	ペプチド・タンパク質化学	■生理活性ペプチドの構造と機能に関する相関研究 ■酵素の触媒反応と構造の関係 ■固定化酵素の産業への応用研究
米田 一成 教授 博士（工学）	生化学、代謝化学、応用酵素化学、酵素化学、酵素工学、遺伝子工学、構造生物学、遺伝子資源学、応用微生物学、タンパク質工学、極限環境微生物学	■藍染めの藍建て発酵に関わる酵素の研究 ■農業害虫に対する特異的農薬創製を目的とした昆虫由来農薬解毒酵素の結晶構造解析 ■L-アミノ酸脱水素酵素の産業応用に関する研究
木下 英樹 准教授 博士（農学）	応用微生物学（特に乳酸菌） 発酵食品学	■乳酸菌の機能性に関する研究 ■チーズや豆乳ヨーグルトの機能性に関する研究 ■乳酸菌を用いた六次産業化の推進に関する研究 ■エクソソームを介した脳腸相関に関する研究
平野 将司 准教授 博士（環境共生学）	食品衛生学 環境生物化学	■核内受容体タンパク質を介した食品成分の有効性・安全性評価 ■核内受容体タンパク質の分子モデリングと分子認識に関する研究 ■小型魚類疾患モデルを用いた食品機能・疾患予防に関する研究 ■機能性成分を含む食材の食品加工への応用に関する研究
多賀 直彦 講師 博士（農学）	応用微生物学 生物化学工学	■発酵食品のバクテリオシン ■焼酎粕の有効利用 ■油脂分解微生物のスクリーニング ■野生酵母によるパン製造 ■皮膚常在菌の化粧品への応用
外村 彩夏 講師 博士（環境共生学）	分子生物学 栄養学	■大気汚染物質（PM2.5等）曝露による生体への影響評価 ■食物アレルギーの作用機序に関する研究 ■バンペイユ非可食部からのバイオプラスチック合成

農学部

氏名・職名・学位	専門分野	研 究 領 域
山内 絵美理 助教 修士（教育学）	教育方法学 教師教育 教員養成 教育経営学	■大学における教員養成教育 ■養成段階における葛藤を伴う「教職アイデンティティ形成」の教育的意義 ■学校現場における対話型校内研修および授業研究
福山 裕士 教授 農学士	学校教育 農業教育	■農業教育全般

総合農学研究所

氏名・職名・学位	専門分野	研究領域
荒木 朋洋 教授 農学博士	タンパク質化学	■タンパク質化学 ■卵白タンパク質の化学 ■植物自己防御タンパク質の構造と機能 ■生理活性ペプチド/プロテオーム解析 ■アミノ酸
今川 和彦 教授 Ph. D.	分子繁殖科学	■牛の受胎率向上法と不受胎牛の早期判別法の開発 ■牛悪性リンパ腫（牛白血病）撲滅のための感染や感染後の発症抵抗性及び抵抗性メカニズムの解明 ■ウイルスによる胎盤進化の研究 ■「あか牛」の健康増進とメタン産生低減のためのルーメン及び腸内細菌叢の解析とその再構築

技術相談申込書

年 月 日

1. 申込項目（希望する項目を■印にしてください。）

☐技術相談 ☐委託研究 ☐共同研究 ☐本学研究設備の利用 ☐その他(施設見学等)

2. 相談内容

本学研究者との打ち合わせ等で必要となりますので、できるだけ具体的に詳しく記入願います。
なお、データ・資料・図面等があれば添付してください。

3. 希望する本学研究者氏名

本冊子をご覧の上、希望する研究者の氏名(複数でも可)をご記入ください。ご相談の内容から研究者を指定できない場合は空欄でも結構です。技術相談は、原則として学内で行います。

しかし、専門家がない場合や本学以外の公的機関等が適切と考えられる場合は、その紹介を行います。

4. 申込者

住 所：

(〒 -)

TEL：

FAX：

E-mail：

団体・機関・会社名：

役職等：

氏 名：

交通アクセス

熊本キャンパスへの交通アクセス

〒862-8652 熊本県熊本市東区渡鹿9丁目1番1号

【電車】

「熊本」駅からJR 豊肥本線で5 丁目（熊本駅より約13 分）の「東海学園前」駅下車、駅正面

【バス】

（熊本桜町バスターミナル発）九州産交バス

F1-1 番またはF1-2 番/「東海学園前」下車 徒歩1 分

阿蘇くまもと臨空キャンパスへの交通アクセス

〒861-2205 熊本県上益城郡益城町杉堂8 7 1-1 2

【電車】

「熊本駅」からJR 豊肥本線で11 丁目（熊本駅より約33 分）「肥後大津駅」下車、スクールバス（無料）※で約15 分

※スクールバスは、学生が乗車することを目的に運行しています。運行状況は、本学にお問い合わせください。

【バス】

（熊本桜町バスターミナル発）

6 番のりばから阿蘇くまもと空港リムジンバス（約50 分）で「阿蘇くまもと空港国内線ターミナル」下車、徒歩約14 分

お問い合わせ先

東海大学 フェニックスカレッジ

熊本オフィス 研究支援担当

〒862-8652 熊本県熊本市東区渡鹿9 丁目1 番1 号

TEL : 096-386-2605（直通）

096-386-2723（直通）

FAX : 096-386-2649

E-mail : kenkyu@tsc.u-tokai.ac.jp

